

## 2022年 シラバス

履修規定	必修課目	授業課目	文化論
履修学年	2年	コース	理容科 美容科
担当教員	鞍成勝子	経歴	美容文化論教員資格
担当教員	小山民恵	経歴	文化論教員資格 文化論同時授業教員資格
授業時間数	16	授業方法及び場所	講義 校内

### 1. 教科・科目の目標（到達目標）

- ・ 西洋の理容美容の歴史の中にあるヘア、メイク、ファッションのデザインを学ぶことで今後のデザインのヒントやそこから生まれる創造力を培う。
- ・ 日本の伝統衣装である和装の礼装の決まりごとについて理解を深める。
- ・ 洋装の礼装では、男性・女性の礼装の種類とTPOについて理解を深める。

### 2. 学習内容

- ・ 教科書巻末による年表を基に、西洋文化史を時系列に学んでいく。
- ・ 和装の礼装においては、山野着装のテキストと連動させ学んでいく。
- ・ 洋装の礼装の種類とTPOを学んでいく。

### 3. 学習方法

- ・ 講義により行うが、少人数であるため一方通行にならないよう学生の発言を促すよう工夫をする。
- ・ 授業毎に、単元テストを行い反復することにより理解度を深める。
- ・ 各時代のヘア、化粧、ファッションの特徴を視覚により明確にする。
- ・ 和装に関しては、花嫁衣裳等、実際に提示する。

### 4. 学習評価

- ・ 学習態度、出欠状況を評価する。
- ・ 学期末テスト
- ・ 提出物、単元テスト

教科書	文化論(日本理容美容教育センター)	参考文献 副教材等	PPによる提示 プリント
-----	-------------------	--------------	-----------------

## 学習計画

月	学習項目	学習内容・方法
4月		
5月		
6月		
7月		
9月 10月	4章 ファッション 文化史 西洋編	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中世ヨーロッパ</li> <li>・ 近世Ⅰ（16世紀）</li> <li>・ 近世Ⅱ（17世紀）</li> <li>・ 近世Ⅲ（18世紀）</li> <li>・ 近代Ⅰ（18世紀末～19世紀初め）</li> <li>・ 近代Ⅱ（19世紀）</li> <li>・ 現代Ⅰ（1910年代～1920年代）</li> <li>・ 現代Ⅱ（1930年代～1940年代前半）</li> <li>・ 単元テスト</li> </ul>
11月	4章 ファッション 文化史 西洋編	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現代Ⅲ（1940年代後半～1950年代前半）</li> <li>・ 現代Ⅳ（1960年代）</li> <li>・ 現代Ⅴ（1970年代）</li> <li>・ 現代Ⅵ（1980年代）</li> <li>・ 現代Ⅶ（1990年代～2010年）</li> <li>・ 単元テスト</li> </ul>
12月 1月	第5章 礼装の種類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 和装の礼装</li> <li>・ 洋装の礼装</li> <li>・ 学期末テスト</li> </ul>
2月 3月		